

文教環境委員会での質疑一部抜粋

質 市は指定管理者を非公募で選定する考えであったが、最終的に公募で決定する理由は何か。

答 非公募ではなく公募とする選定委員会の意見を尊重しました。

質 選定委員にスポーツ施設の指定管理のこれまでの経緯を十分説明しているか。

答 今までの経緯も含めて選定委員会の場でしっかり説明しており、そのことを踏まえて十分協議され、認識されていると考えています。

質 事業計画に記載されているトップアスリート就職支援事業について、記載内容が事実か確認したか。

答 確認していますが、トップアスリート就職支援事業での採用ではなく、それに準じたものだと判断しています。

審査の結果、文教環境委員会では賛成少数で否決すべきものとなり、本会議の採決では、賛成少数で否決となりました。

討論 (要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。(討論順)

< 議案について >

森川 ヤスエ 議員 (日本共産党)

議案第87号、議案第88号、議案第89号、議案第100号に反対。その他議案は賛成。

指定管理者選定委員会の採点結果は、経済面が突出して有利でありながらも、全体でわずか0.5点の僅差であり、スポーツ施設を任せるには不安が大きい。また、当施設の指定管理を行っていた過去6年間は、スポーツ指導

者の確保を、鈴鹿市体育協会傘下の各競技団体との調整で確保してきたとのことであり、スポーツ振興を目的にする体育スポーツ施設の運営を任せるにはいくらかの不安が生じる。

また、公募決定までの審議を見ると、前回の選定の際に公募から非公募にしたいきさつに触れることもなく、原則論で乗り切っているところに違和感を持つため反対する。

宮木 健 議員 (自由民主党鈴鹿市議団)

全議案に賛成。

議案第100号に以下の意見を述べる。

指定管理(鈴鹿市立体育館外17施設)についての第6回選定委員会において、1名の欠席者はいたが、委員会は成立しており、4名の採点結果であっても適切に判断されたと考えられる。また、市も選定委員会に対して詳

細に説明し、議会からの「市政への提言」を伝えた上で、選定委員会の意見や答申を尊重し、議案を提案した。その中で、議案質疑や一般質問に対する答弁、文教環境委員会での説明など議会の承認を得られるように努めるなど、行政としての所定の手続きを踏んでいると判断しており、落ち度はないと考え賛成する。